

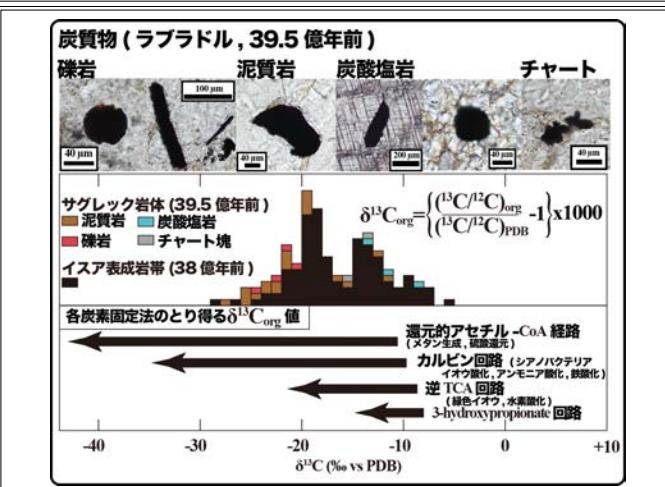
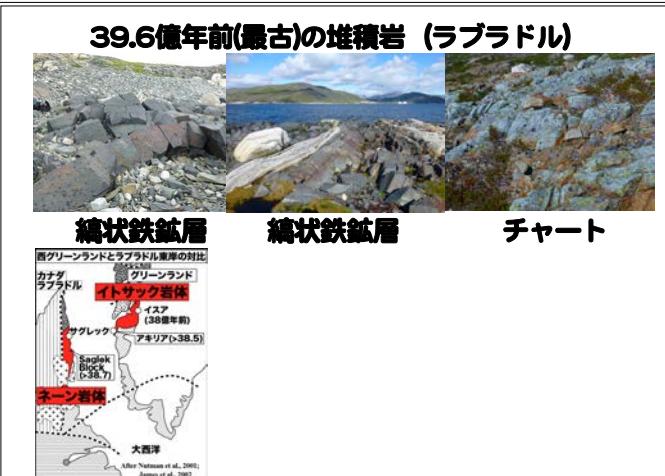
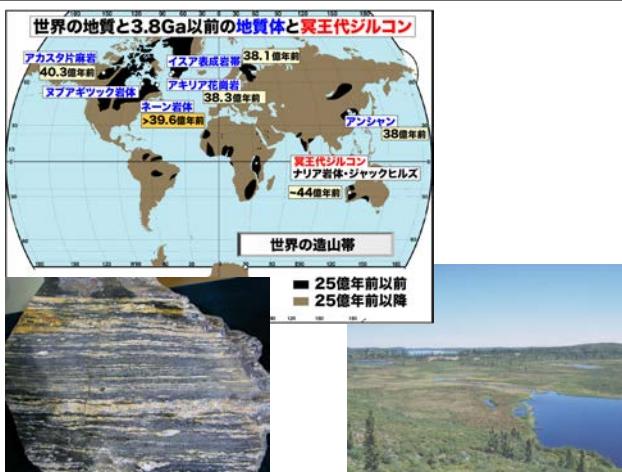
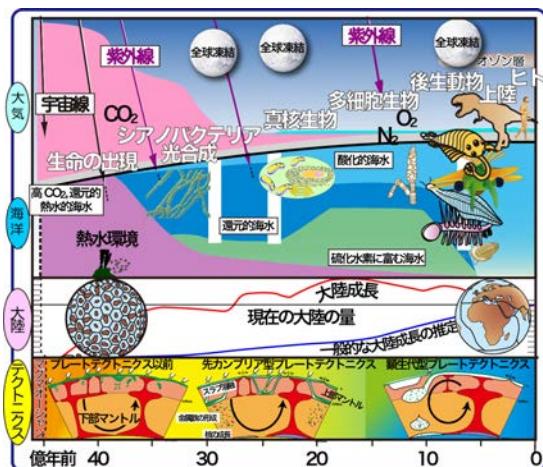
生物多様性学II ～生命・地球環境進化～ (第七回目)

-太古代～原生代の生命進化-

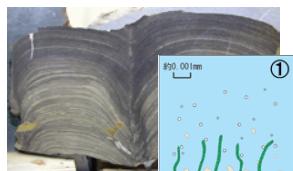
東京大学総合文化研究科：

小宮 剛 准教授

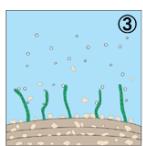
2016/11/30



ストロマトライト 一酸素発生型光合成細菌：シアノバクテリア

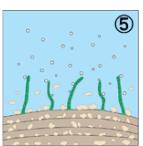


藍藻は日中活動し、光合成により酸素を発生する



夜間に固定された層の上で

日中は活動する



この繰り返しでストロマト

ライトは大きくなっていく



夜は光合成が停止して、

粘液で堆積物を固定する



夜は粘液で堆積物を固定する

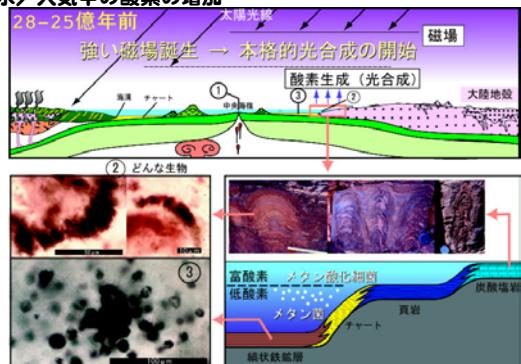
現在の地球にある“太古”的海

- (1) 高塩分濃度
一シアノバクテリア
ストロマトライト



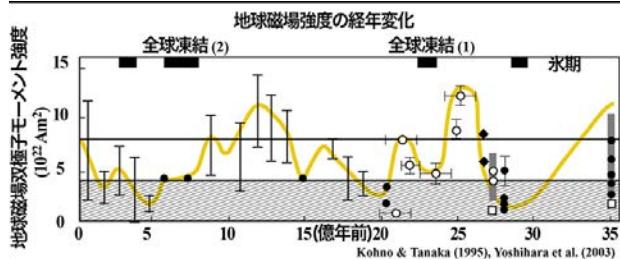
27億年前頃の地球磁場の発達

浅海域に大規模に光合成生物(シアノバクテリア)が出現
→海水/大気中の酸素の増加

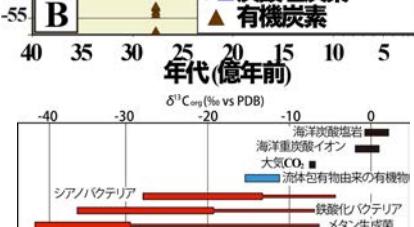
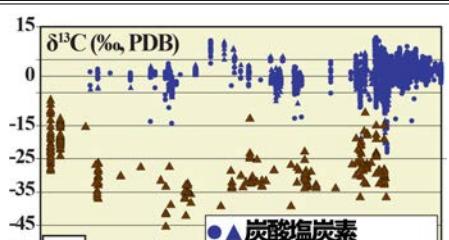
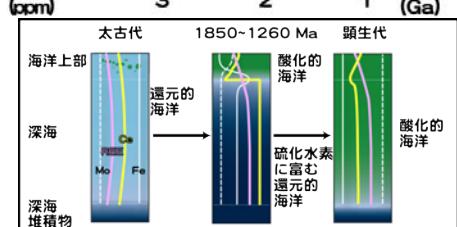
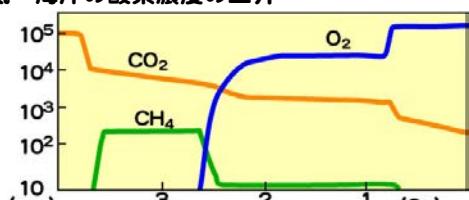


27億年前頃の地球磁場の発達

浅海域に大規模に光合成生物(シアノバクテリア)が出現
→海水/大気中の酸素の増加



大気・海洋の酸素濃度の上昇



(3) 縞状鉄鉱層型



(1) 鉄



縞状鉄鉱層

18億年前以前に見られる

海水中の Fe^{2+}
が酸化されて、
 Fe^{3+} になり、
沈殿 (FeO(OH))

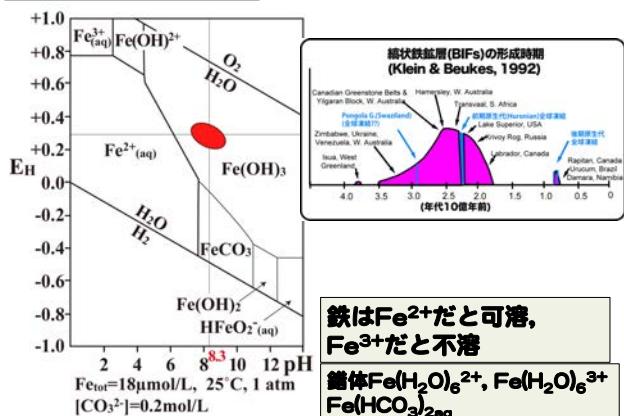


縞状マンガン層

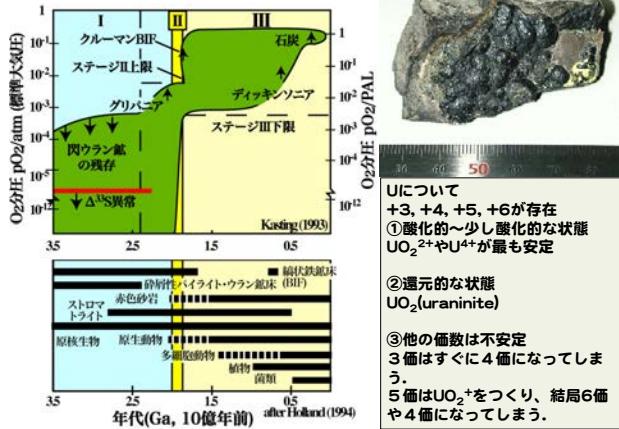
23億年前

海水中的 Mn^{2+}
が酸化されて、
 Mn^{3+} または Mn^{4+} になり、沈殿

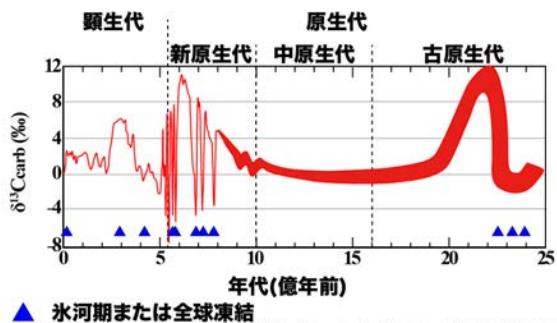
Feについて



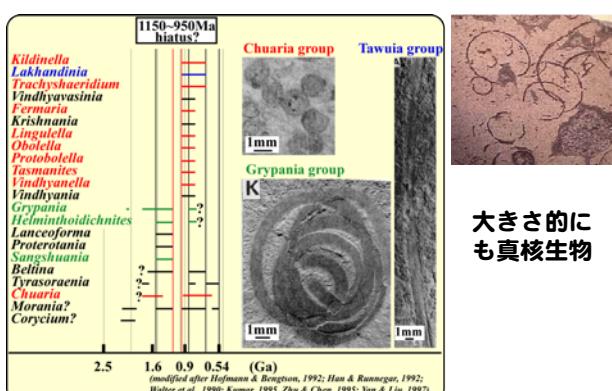
大気・海洋の酸素濃度の上昇



海水(炭酸塩)の炭素同位体比の歴史



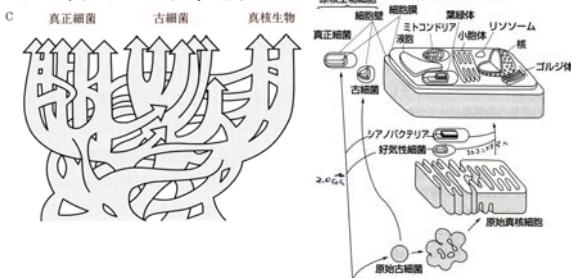
19億年前、macrofossilsの出現。



大きさ的に
も真核生物

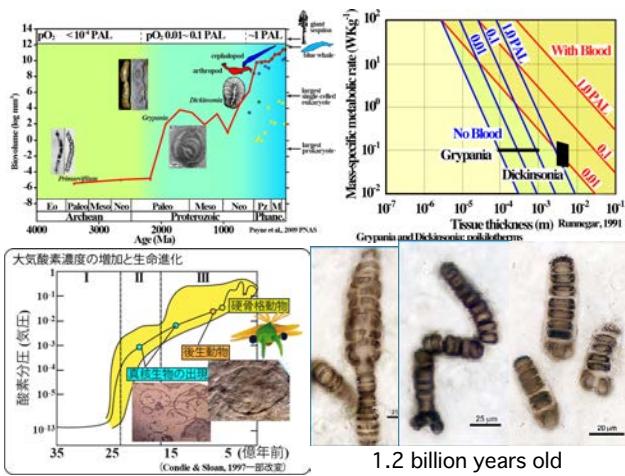
真核生物—DNAが核に保管

細胞内共生と水平進化



(図6-2) 真核生物の形成過程と細胞構造の模式図。原始古細菌は細胞融合によって巨大細胞を形成して原始真核生物となり(後脱), それに好気性細菌(グラム陰性細菌)が細胞内共生してミトコンドリアとなり, シアノバクテリアが細胞内共生して葉緑体になった。現存の真正細菌, 古細菌にははっきりとした細胞構造はない(参考文献10より転載)。

最古の多細胞生物?(21億年前)



海水の組成と生命進化(生命進化と海洋組成変化の関連)

